

第十部 第四章 2013年(平成25)年

第1節 「旧東海道57次(+旧鳥羽・旧姫街道)」スルーハイク
～ [日本大動脈眺望回廊高架建造大作戦] ～

「歴史街道」トレイルをやっているものとして、憧れである念願の「旧東海道57次」をスルーハイクで踏破する事が出来ました。前半メインステージとして、標記旧街道を、同57次は、正身2013年(平成25)年5月1日(水)東京は日本橋スタート～5月23日(木)大阪は高麗橋ゴールの22連泊23日間、実歩行距離は723(646+77)kmでした。後半サブステージとして、引き続き歩いた脇街道の「旧鳥羽街道、旧姫街道」を歩きました。メイン・サブの合計では、5月26日(日)までの25連泊26日間、ルート沿い計画677kmに対する実歩行距離は810kmとなりました。もちろん、この期間中に休息日は入っていません。1日平均の実歩行距離は31.1km、同時間は9.2時間、同平均時速は3.4kmとなりました。全ルートの概要は図-48のとおりで、この時足跡を残した通過県は、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府でした。

東西の2大都市間、No1東京とNo2大阪を徒歩で繋いだ感激的なトレイルとなりました。

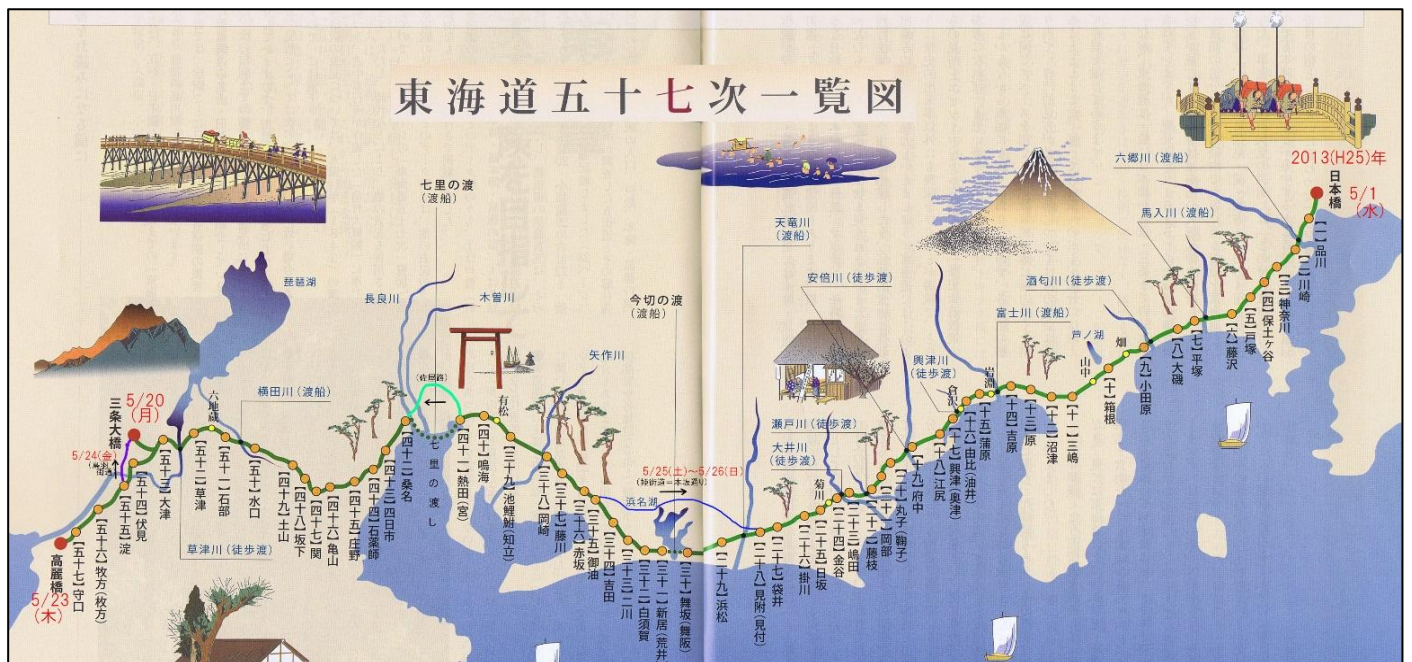


図-48

1. 「大香ブランド老魂サブタイトル」設定の背景事情

多くの方は、「旧東海道53次」ハイクで京都三條大橋を目指していますが、今回の私の場合は、ここを立寄り・経由地とし、さらに延伸して、ここから大阪までの「旧京街道」も合わせ、「旧東海道57次」をスルーハイクする計画で臨みました。下記二つのテーマ(事情)を考慮し、「大香ブランド老魂サブタイトル」を見出しの [日本大動脈眺望回廊高架建造大作戦] に設定したのです

□主テーマ

「旧東海道」は、徳川将軍在所の江戸と、天皇在所の京都を結ぶ街道で、江戸時代の主要道路であった旧五街道の中でも、整備が行き届き最も重要な街道でありました。物流、人的交流、交易の大動脈でありました。同街道は葛飾北斎(富嶽三十六景)や歌川広重(東海道五十三次)が描いたように、数々の大河

を横切り、秀麗かつ吾が国最高峰の富士山を眺めつつ、人々の往来が交錯する大道でありました。現在も、JR東海道線・東海道新幹線、国道1号線、東名・名阪高速道路が通じ、「第二東名神」を建設中（一部供用開始）です。吾が国の発展・繁栄の基幹軸を形成し、太平洋岸京阪ベルト地帯を貫き、政治・経済の中心舞台です。古今の歴史の変遷を全身で受け止め、これらの眺望を俯瞰したく、時には、頭の中で現代的なコンクリート建造物を消去して浮世絵の構図を幻想したい、そのために、江戸は日本橋から大阪は高麗橋こうらいまでの旧東海道筋に高架の眺望回廊を建造しながら眺めようと決意したのです。いわば往時（昔）と今を瞬時にスイッチングして俯瞰する事にしたのです。そして建造完了した眺望回廊は後世のために残置する事にしたのです。

□副テーマ

踏破済の「旧中山道」スルーハイクの「大香ブランド老魂サブタイトル」にした「かずのみやこうか和宮降嫁の尽忠報国（報告）12ミッション」との関連もあります。和宮降嫁の本体は「旧中山道」経由ですが、荷物の移送は、「旧東海道」を利用したのです。そこで、途中で忘れ物はないか、落し物はないかと言う点検・確認をするために高見から観察する必要があり、そのためにも高架眺望回廊を必要としたのです。

2. 本街道のトレイル概況

◇前半メインステージ

トレイル開始日は、行動日数と暦が一致するように、5月1日（水）の早朝に東京日本橋をスタートしました。日本橋は江戸時代の旧五街道の基点であり、今も吾が国の国道の基点であり、「道路元標」が設置されている日本橋は、4回目であります。問題は、宮宿（名古屋市熱田区）～桑名宿（三重県桑名市）の「七里の渡し」のルートはどうするかと言う事があります。同渡し（船）は運行されていないので、陸路経由となります。そこで、国道1号線沿いでは無く、旧東海道の宮宿・桑名宿に繋がる内陸部の古道である「旧佐屋路（旧佐屋街道）」を歩きました。5月20日（月）14時30分、京都三条大橋に到着し、ここにいわゆる「旧東海道5³次」を踏破しました。引き続き、大阪に向けて「旧京街道」——旧東海道5⁷次と言う時の旧東海道ルートでもあります。——を歩き続け、5月23日（木）11時05分、大阪高麗橋に到着し、ここに「旧東海道5⁷次」（全道）を踏破し、所期の第一目標を達成しました。

◇後半サブステージ

そして、高麗橋を離れ、自宅に向けた途上で次の二つの歴史街道を付加してトレイルしました。戊辰戦争勃発の一つの戦端となった京都府淀よど（駅）から京都（駅）までの「旧鳥羽街道」、ならびに旧東海道の浜名湖内陸側迂回路の「旧姫街道（高坂通り）」を歩いて、当初計画のどおりの全てのコースを踏破しました。なお、この図—49の「旧姫街道」は、浜名湖南端の湖口（太平洋直結）の「今切れの渡し」は「縁切れ」に繋がるとして女性は嫌い、こちらの道を通った事から命名されたと云われています。短い距離（2日間）であったが、数か所の峠越えがあり古道の雰囲気は今も残っていました。予想外でうれしかったのは松並木も残されていました。

3. 「大香ブランド老魂サブタイトル」からの俯瞰

（1）寄り道散策・よりみち紀行

後記「第十四部 『第十部 スルーハイクの個別記録』に対応する各移動行程集計表—14件（日程、距離、時間、宿泊先）」の当該旧東海道一覧表中に『✓』マークを付定した。

本タイトルのミッションを背負い、眺望回廊高架を建造しながら俯瞰した現況は、憧れたものを大満足してくれるものでした。



図-49

今回のトレイルに於ける「よりみち紀行」は、計画段階から目的地を決めており、旧五街道整備に着手した徳川家康のゆかりの地と、NHK大河ドラマ「八重の桜」に係る「鳥羽・伏見戦争」のゆかりの地に立ち寄りました。本道歩きの途中で、街道を一旦離れて、「よりみちの楽しみ」を満喫しました。次のとおりであるが、その他に本道筋の「駿河城、岡崎城、浜松城」に立ち寄って来ました。[大香ブランド老魂サブタイトル]の心から言うと、「旧東海道」本道からローカル線モノレールを分岐し、ここから観望したようなものです。

a. 5月8日(水)9時50分に街道を一旦離れて、静岡県静岡市清水区の清水駅前からバス移動で「三保の松原」(最終的には世界遺産に登録)に行き、引き続き「久能山東照宮」に足を延ばして参拝し、その後は清水駅に戻り、13時に街道本筋に復帰しました。この頃は、「三保の松原」は世界遺産登録の推薦から漏れたと報道された頃でした。図-50は、三保の松原からの撮影ですが、世界遺産審議過程で問題にされた波消ブロックが映っており、やはり、文化的景観にはそぐわないものを感じました。防風林松林は、確かに密集はしていましたが、趣きと言う点は余り感じられず、何となく満足を覚えませんでした。



図-50



図51

b. 5月20日(月)14時30分、京都三条大橋(図-51)に到着(ここに「旧東海道53次」を踏破)

後、14時50分に、ここを一旦離れて、池田屋（池田屋事件／長州藩・土佐藩などの尊王攘夷派志士を、新選組が襲撃した事件）跡→本能寺→京都市役所→二条城（内部見学）→京都府庁（京都守護職屋敷跡）→京都御所（内部散策）→三条大橋に戻り、近くの街道沿いのホテルに投宿しました。京都三条大橋と云えば、駒姫の事です。吾が山形藩主最上^{よしあき}義光と大崎夫人との二女として天正7（1581）年山形城で生まれ、羽柴（豊臣）秀次（豊臣秀吉の養子）の側室となりました。別名、「伊万（いま）」と呼ばれ、伊達政宗の従妹に当たります。その彼女が（歴史的経緯があつて）この三条河原で処刑されたのです。京都三条大橋に立つと、印象に残るのが、京都御所の方角を望拝する高山彦九郎の銅像であります。ここに来ればどうしても、江戸期までの天皇の拠点たる京都御所（京都御苑）と幕府の象徴たる二条城を訪ねざるを得ないのです。中山道完歩の時もそうでしたが、今回も立ち寄りました。京都御所には蛤御門の変（禁門の変）における砲弾跡が今も門に残されており、ここを舞台に激動の政変に巻き込まれた京都守護職の会津藩松平容保公の葛藤を^{かたもり}偲びました。

c. 5月21日（火）の早朝の行動からです。早朝京都三条大橋駅から、「旧東海道」の大阪方面への分岐点近くの追分駅まで電車移動し、そこから歩き初め、真近かの髭茶屋追分点を7時40分、大阪に向けて「旧京街道＝旧東海道」のスタートを切ったのです。その後、11時40分に街道を一旦離れ、伏見桃山城公園→桓武天皇陵参拝→明治天皇陵参拝→乃木神社参拝と歩き、13時40分に街道に復帰しました。明治天皇陵（図-52）の敷地は豊臣秀吉の築いた伏見城の本丸跡地との事です。近くの桓武天皇陵もそうですが、墓正面の鳥居は『神明鳥居』で至ってシンプルです。それが何とも言えない神威を感じるのです。明治天皇と云えば、新しい日本の統治者になった事を、国民に広く知らせようと思った全国行幸に思いを馳せ参拝しました。



図-52



図-53

d. 5月23日（木）11時05分、「旧東海道57次」の大阪の発着基点である高麗橋（図-53のガード下、傍に明治に置かれた「里程元標」が有り）にゴールしました。ここに「旧東海道57次」（全道）を踏破しました。その後、高麗橋を一旦離れて、大阪市役所→大阪府庁→大阪城（内部見学）→京阪天満橋駅と歩き、翌日の「旧鳥羽街道」歩きに向けて移動し、天満橋基点近くの旅館に投宿しました。

なお、この間で、2011（平成23）年の「旧熊野古道（+旧西高野街道）スルーハイク」の時に立ち寄った大阪の天満橋基点にある「熊野かいどう」の案内表示板に出会い、とても懐かしく思いました。

e. 5月24日（金）早朝、淀駅をスタートし、「旧鳥羽街道」を北上して京都駅にゴールしました。その後同駅を離れて、西本願寺→壬生寺参拝→近江屋跡→霊山護国神社（坂本龍馬墓所参拝）→霊山歴史館（内部見学）→京都駅まで歩き、翌日の「旧姫街道」歩きに向けて、同駅から名古屋駅・本宿駅に電車移動し、近くの旅館に投宿しました。土佐藩を脱藩し、心は自由、身はお尋ね者となり、京都江戸、九州を駆けずり廻り、討幕・維新が^{うごめ}蠢く中で精神的支柱となって大活躍した坂本龍馬、用意周到が緻密な周旋家

龍馬の墓所は、高台の靈山護国神社の一角に、近江屋で一緒に暗殺された中岡慎太郎と共に、神明鳥居で守られて眠っています。墓の正面は京都市内全貌を見渡せる素晴らしい場所に祀られています。なお、向かって左側に龍馬の墓碑、右側に慎太郎の墓碑が並んで祀られています。図-54は坂本龍馬の墓所とそこから見渡せる京都市街地です。

(2) 富士山の雄姿

街中(昔の宿場)では期待していた浮世絵に出る昔のような超眺望はなかった——つまり、現代の高層建造物が邪魔して、浮世絵のような構図にはなかなか出会えませんでした。しかし、「大香ブランド^{RouCom}老魂サブタイトル」ミッションは眺望回廊高架建造のお蔭で、所々で大河と富士山、海と富士山、山と富士山の関係図絵に出会う事が出来ました。絵葉書に出るような眺めと風景にも出合いました。富士山に向かう時には「引き寄せられる」、背にする時には「後押しされる」と言う実感がありました。昔から変わらぬ姿であったと思うと感無量となりました。富士山の写真は沢山撮影したが、ここでは象徴的なもの2枚を掲載します。図-55

右は富士川に現れた堂々たる雄姿であります。シンメトリーの秀麗さを感じさせます。同図左は良く絵葉書に採用される事が多い^{さった}薩埵峠に現れた眺望です。手前の山の後方から覆い被さって来るような迫力を感じました。女性らしさと男性らしさの両方を兼ね備えたように映りました。ところで、桜井進著「雪月花の数学(祥伝社文庫)」によると、富士山の稜線は指数曲線 $y = e^x$ を描いている(同図下)とのことです。余談であるが、この e は自然対数の底・ネイピア数(無理数)といい、宇宙の調和を表現する数をいう。「 $e^{i\pi} + 1 = 0$ 」というオイラーの等式があり、この e 、 i (虚数単位、すなわち2乗すると -1 となる複素数)、 π (円周率・すなわち円周の直径に対する比率、無理数)、そして 0 (加法の単位元; $5 + 0 = 5 = 0 + 5$) と 1 (乗法の単位元; $5 \times 1 = 5 = 1 \times 5$) が絡む何とも綺麗な不思議な数式です。



図-54

(3) 大河を横断



図-55

日本列島の中央部は脊梁山脈を形成し、そこを水源とする川は、一方は太平洋に、他方は日本海に注いでいます。こうした地形構造において旧東海道は太平洋岸に沿うように付けられており、当然川幅の広がった河口近くを横断する事になります。山形県人としては酒田の最上川河口横断の道路を思い浮かべる

事が出来ますが、この幅を遥かに超える大河を沢山横断するのです。東から六郷川（多摩川）・馬入川（相模川）・酒匂川・富士川・興津川・安倍川・大井川・天竜川・豊川・矢作川・木曾川・長良川・揖斐川を横断するが、今は、大型の鉄筋コンクリート製橋梁となっています。このような大河の橋を徒歩で歩く人は皆無と言って言いほどでした。河口付近ですから、淡水と海水が衝突する場所故にどこの橋でも強い風（20m?前後/身体を60度くらいに傾けないと立ってられない。）を感じました。江戸時代は大橋（現代の木造永久橋）、渡し船、仮橋、季節による仮橋、徒渡しなどにより渡河したそうです。昔の人は、現代人には想像が出来ない難儀をしたのです。当時は、兩岸の宿場は遊女・飯盛女も抱え大繁盛した所もあったようです。

ところで、余談であるが、川のランキングです。車を含め一度は全てを横断しました。

○ 日本一長い川ランキング

第1位は信濃川 367km・流域(新潟県・長野県)、第2位は利根川 322km・流域(茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・長野県)、第3位は石狩川 268km・流域(北海道) です。

○ 流域面積ランキング（雨や雪などの降水が流れ込む面積の範囲のこと）

第1位は利根川 16,840km²、第2位は石狩川 14,330km²、第3位は信濃川 11,900km² です。

○ 河口幅ランキング

第1位は富士川 1,950m（静岡県）、第2位は那賀川 1,770m（徳島県）、第3位は揖斐川 1,600m（岐阜県&三重県）です。

○ 川幅ランキング（堤防から対岸の堤防までの幅）

第1位は荒川 2,537m（埼玉県と東京都）です。

（4）大都会に溶け込む歴史街道

首都東京、名古屋、京都、大阪の大都会中心市街地、ど真ん中を通過する「旧東海道」です。経済発展のうねりの中で高層ビルの谷間に沢山の神社や寺院が佇んでいます。現代最先端の文明と昔ながらの神仏が溶け込んで、まったく違和感のない吾が大和民族の真骨頂に触れる事が出来ました。

4. 「鳥羽・伏見戦争」の余韻が残る地を尋ねて

日本史の中で私が最も熱い思いが込み上げて来るのは、私心を捨て、新しい国造りに奔走した勇敢な志士達が大活躍する江戸幕末から明治維新に掛けての歴史ステージです。明治維新躍動の助走期に始まった戊辰戦争の初戦「鳥羽・伏見戦争」のゆかりの地に立ち寄りました。この「鳥羽と伏見」の二つの場所が戦端となって戦いが開かれたのです。初めてそのような場所に立って来たが、ここが運命の場所になったのかと思うと感傷的になりました。今様政治家（市町村議員から首相まで）とは真逆の人々でした。

その1：（伏見地区）―― 21日 5月21日（火）の大阪に向けた「旧京街道」トレイルの道筋です。今の桃山伏見駅周辺（伏見地区）で、新政府軍の砲撃陣地の御香宮神社、旧幕府軍が陣取った伏見奉行所跡、戦いの弾痕跡が残る所など戊辰戦争の中心舞台を散策しました。

その2：（鳥羽地区）―― 24日 5月24日（金）の京都に向けた「旧鳥羽街道」トレイルの道筋です。淀城跡、鳥羽殿跡、鴨川小枝橋周辺等の戦いの激戦地となった所々を散策しました。

5. 初志貫徹

RouCon
老魂サブタイトル [日本大動脈眺望回廊高架建造大作戦] を敢行し、俯瞰した状況は上記のとおりであり、また、前記サブテーマについても落し物などはなかった事を京都御所に報告しました。ここに所期の

目的を達せられた事に安堵しました。

6. 本トレイルの感想をつたない短歌に

“東^じ海路を突貫工事で高層化 眺めは抜群心の街道”

“古^{いにしえ}の魅力を満載東海道 富士に向かいつ富士を送りつ”

“幹^{みき}の道^{みち}を諸人^{もろびと}通い固められ 東西文化の交流道”

“京都の三条大橋賑わいて 今も昔も発着基点”

“大阪の高麗橋^{こうらい}に立ち来^これど 喜びよりも次の先を観ん”

“平ら気^けく見慣れ景色に飽きた頃 二人目我^{われ}と続きの対話”

“憧^{じもく}れで歩き通した東海道 王道歩みは耳目を育てん”

“東海道は国の中^{いのち}枢^なの命^{ちく}為^だる 血管^{ちりゅう}に潜り血流を造る”

⑩ 2013 (平成25) 年「旧東海道57次(+旧鳥羽・旧姫街道)」スルーハイク (25連泊26日間) の全踏破歩行記録

----- 移動行程集計表

「大香ブランド老魂サブタイトル」は ~ 日本大動脈眺望回廊高架建造大作戦 ~

累積 日数	行動月日		街道の歩行区間 通過主要地点・旧宿場名・始終点	実歩行距離 km	歩行時間				平均時速 f=a/e	天候	備考	宿泊先 (略称)			
	月 日	曜 日			歩行開始 時:分	歩行終了 時:分	歩行時間 時間:分	時間換算 時間				所在地	名称		
														a	b
前日	4月30日	(火)									(前日泊)→	東京都中央区	センターホテル東京		
[以下は、東海道53次] (「七里の渡し」はないので、佐屋路を經由)											∨; 寄り道散策		スタート		
1日目	5月1日	(水)	[日本橋(S)]→01品川→(多摩川)→02川崎→(鶴見駅前)	32.0	7:00	16:35	9:35	9.6	3.3	快晴		神奈川県横浜市	BH ときわ		
2日目	5月2日	(木)	(前終点)→03神奈川→04保土ヶ谷→05戸塚 (前終点)→06藤沢→(相模川)→07平塚→08大磯 →(二宮駅前)	26.2	7:05	16:10	9:05	9.1	2.9	晴れ		神奈川県横浜市	相鉄 フレッサイン 横浜戸塚		
3日目	5月3日	(金)	(前終点)→09小田原→(畑宿)	34.3	6:50	16:50	10:00	10.0	3.4	快晴		神奈川県平塚市	ときわ旅館		
4日目	5月4日	(土)	(前終点)→10箱根→(箱根峠)→11三島	26.6	6:35	14:45	8:10	8.2	3.3	晴れ		神奈川県小田原市	BH 伊勢		
5日目	5月5日	(日)	(前終点)→12沼津→13原→14吉原	24.9	6:45	16:25	9:40	9.7	2.6	快晴	箱根峠越え	静岡県三島市	セレクトイン三島		
6日目	5月6日	(月)	(前終点)→15蒲原→16由比→(薩田峠)→17興津	30.1	7:05	15:45	8:40	8.7	3.5	快晴		静岡県富士市	BH つるや		
7日目	5月7日	(火)	(前終点)→18江尻→19府中	28.8	6:55	16:10	9:15	9.3	3.1	晴れ		静岡県静岡市	駿河健康ランド		
8日目	5月8日	(水)	(前終点)→(安倍川)→20鞠子→21岡部→22藤枝→23嶋田	29.0	8:00	17:25	9:25	9.4	4.6	快晴	∨途中で三保の松原他散策	静岡県静岡市	BH マスターチ		
9日目	5月9日	(木)	(前終点)→24金谷→25日坂→26掛川	32.7	7:05	16:20	9:15	9.3	3.5	快晴		静岡県島田市	セレクトイン島田駅前		
10日目	5月10日	(金)	(前終点)→27袋井→28見附	26.2	7:15	15:30	8:15	8.3	3.2	快晴		静岡県掛川市	かけがわステーションホテル2		
11日目	5月11日	(土)	(前終点)→29浜松→30舞阪→31新居	25.2	7:30	15:05	7:35	7.6	3.3	雨	1日中雨具着用	静岡県磐田市	BH シージョン		
12日目	5月12日	(日)	(前終点)→32白須賀→33二川→34吉田→35御油→36赤坂	38.5	6:25	16:30	10:05	10.1	3.8	晴れ		静岡県湖西市	新大村旅館		
13日目	5月13日	(月)	(前終点)→37藤川→38岡崎→(矢作川)→39知立	40.8	6:00	15:30	9:30	9.5	4.3	快晴		愛知県豊橋市	ホテル 青山		
14日目	5月14日	(火)	(前終点)→40鳴海→41宮(熱田)→S1岩塚	38.0	6:55	16:45	9:50	9.8	3.9	快晴		愛知県知立市	BH 知立		
15日目	5月15日	(水)	(前終点)→S2万場→S3神守→S4佐屋→42桑名	31.5	6:25	15:15	8:50	8.8	3.6	快晴		愛知県名古屋	第1スターナゴヤ		
16日目	5月16日	(木)	(前終点)→43四日市→44石薬師→45庄野	34.9	6:15	16:00	9:45	9.8	3.6	快晴		三重県桑名市	旅館 四日市屋		
17日目	5月17日	(金)	(前終点)→46亀山→47関→48坂下→(鈴鹿峠)→49土山	36.6	6:05	16:10	10:05	10.1	3.6	快晴		三重県鈴鹿市	BH マルブン		
18日目	5月18日	(土)	(前終点)→50水口→51石部→52草津	37.6	6:00	17:00	11:00	11.0	3.4	快晴		滋賀県甲賀市	旅館 大安		
19日目	5月19日	(日)	(前終点)→53大津→京都三条大橋[53次踏破]	42.8	6:10	16:30	10:20	10.3	4.1	快晴	13時過ぎから半日雨具着用	滋賀県草津市	アーバンホテル草津		
20日目	5月20日	(月)	(前終点)→54伏見	29.7	6:50	14:30	7:40	7.7	3.9	曇り後晴	∨後に京都市内散策	京都府京都市	桜庵京都ホテル		
				小計	646										
[以下は、東海道57]															
21日目	5月21日	(火)	(前終点)→55淀→56枚方→(光善寺)	22.0	7:40	16:00	8:20	8.3	3.5	快晴	∨途中で伏見区内散策	京都府京都市	旅館 近畿荘		
22日目	5月22日	(水)	(前終点)→57守口→大阪高麗橋[57次踏破]	31.9	6:20	15:35	9:15	9.3	3.4	快晴		大阪府枚方市	ホテルグランブルー		
23日目	5月23日	(木)	(前終点)→58大津→京都三条大橋[58次踏破]	22.9	6:05	11:05	5:00	5.0	4.6	快晴	∨後に大阪市内・淀地内散策	京都府京都市	旅館 近畿荘		
				小計	77										
[以下は、淀から京都への鳥羽街道]															
24日目	5月24日	(金)	淀「駅」→「東寺」→京都「駅」	13.1	6:00	9:10	3:10	3.2	4.1	晴れ	∨後に京都市内散策	静岡県岡崎市	旅館 梅忠		
				小計	13										
[以下は、御油から見附への姫街道(高坂通り)]															
25日目	5月25日	(土)	御油宿「追分」→H6和田→H5嵩山「すせ」→H4三ヶ日	33.2	7:00	16:55	9:55	9.9	3.3	快晴		静岡県浜松市	萬屋旅館		
26日目	5月26日	(日)	(前終点)→H3気賀→H2追分→H1市野→[見附(G)]	40.0	5:00	16:00	11:00	11.0	3.6	晴れ		ゴール			
				小計	73										
				合計	810										
				1日平均	31.1										
				km		9.2	3.4	26.0							
						時間	km/h	km							
											(最終日泊)→		静岡県磐田市		くれたけインいわた
													←ルート沿い計画距離		

(注1) ルート沿い計画距離に対して実歩行距離が、133km(1日当り5.1km程)長くなった理由は、山道の登降(沿面距離)、神社・仏閣立寄り等のジクザク歩き方の影響による。

(注2) 距離と時間の集計は、旧街道・古道沿い関係のみであり、長時間(片道15分・500m程度超過)街道を離れた場合などの移動ロスを除いて補正している。